

企業・団体名( 有限会社旅館菊乃屋(七草の湯) )

**SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】**

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			就業規則に基づき、あらゆる雇用条件において差別のない体制を構築しています。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8											16.1 16.2 16.7
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント防止の方針を従業員へ周知し、定期的な面談を行うと共に、いつでも相談にのれる体制を取っています。					5.1 5.2 5.5					8.5 8.8											16.1
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			明確なシフト管理のもと、負荷がかからないよう調整を行い、長時間労働を回避しています。										8.5 8.8											
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者の雇用は行っていませんが、雇用の際は差別や人権侵害が無いよう徹底します。				4.4						8.7 8.8				10.2 10.3							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			設備の定期点検、緊急対応訓練のほか、作業環境の衛生管理を保ち、事故防止のための仕組み作りを行っています。				3						8											
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			気軽に相談ができる社風であり、スタッフ同士の関係性やメンタルヘルスの良好維持に努めています。				3																	
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性を中心に多様な人材が活躍しており、働きやすい職場環境を提供すると共に、負荷がかからないよう努力しています。					5.1 5.5					8.5					10.2 10.3						
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			外部講師による研修参加を推奨したり、社内教育も体制を整えて行っています。				4	5.5					8		9									
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用形態に関わらず、それぞれの労働法を把握し、同一労働同一賃金等の原則に沿っています。					5.5					8.5					10.2 10.3						
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			従業員の体調管理のほか、メンタルヘルス対策として職場の人間関係や業務負担を見直し、ストレス軽減を図っています。				3						8											
環境	11 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			食材や資源の削減に努め、廃棄物が出た場合は適切に処理を行っています。														11.6 12.4			14.1				
	12 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			電気やガス、水道や灯油の使用量など毎月把握すると共に、設備改善もを行いエネルギー削減に向け努めています。										7.3						13					
	13 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			照明のLED化、節水型シャワーの使用、トイレットペーパーの無駄遣い防止等、省エネの取組と従業員への意識づけを継続します。										7.2 7.3						12.4	13.3				
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本		【非該当】	現状有害化学物質の使用は無く、ゴミの廃棄は適切な処置を行っています。				3.9						6.3						11.6	12.4				





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格

※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定